

14. 腎がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 放射線治療科	1	0	状況	×	×	×	×	×	腎がんの転移腫瘍に対して治療をしています。	ア	診療科のご案内 <a href="http://www.ishikiriseiki.or.jp">http://www.ishikiriseiki.or.jp</a>	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし		あり	イ	診療科のご案内 <a href="http://www.ishikiriseiki.or.jp">http://www.ishikiriseiki.or.jp</a>	掲載なし	掲載なし
2 泌尿器科	6	4	状況	×	○	×	○	○	静脈血栓の有する症例に対しても人工心臓などの使用により積極的に手術している。また転移に対しては、分子標的薬をはじめインターフェロン・インターロイキンの使用もできる。肺転移に対して単発なら鏡視下手術も可能。	ア	診療科のご案内 <a href="http://www.ishikiriseiki.or.jp">http://www.ishikiriseiki.or.jp</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	あり	なし	あり	なし		なし	イ	診療科のご案内 <a href="http://www.ishikiriseiki.or.jp">http://www.ishikiriseiki.or.jp</a>	掲載あり	掲載なし
3			状況							ア	http://			
			実績								イ	http://		
4			状況							ア	http://			
			実績								イ	http://		
5			状況							ア	http://			
			実績								イ	http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 腎細胞がん
	腎細胞がん